

4. 環境月間における取組み

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国で様々な行事が実施されています。当社においても、環境コミュニケーションを推進するための諸行事を展開しており、2015年度は、「きゅうでん環境月間エコチャレンジ2015～つたえよう！ 私たちの思い、地域とともに～」をテーマに、省エネ・節電へのご協力のお願いや、次世代層向けの環境教育などを九州各地で実施しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶ 環境月間

■ 省エネ・節電(街頭キャンペーンほか)

街頭やお客さま対象の節電教室などにおいて、省エネ・節電へのご協力のお願いを83事業所で実施しました。また、当社の省エネへの取組みとして、22事業所でグリーンカーテンを設置しました。



節電街頭キャンペーンの様子(長崎支社)

■ 環境講演会

地球温暖化問題の動向と地域における環境への取組みをテーマに、NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員の竹内純子氏ほか3名の講師による講演会を開催し、105名の方々に参加していただきました。



竹内氏による講演会の様子

■ 次世代層向けの環境教育

地域の小・中学校において、環境やエネルギーに関する出前授業や稚魚放流体験など、次世代層向けの環境教育を19事業所で実施しました。



稚魚放流体験の様子(耳川水力整備事務所ほか)

>>私の環境アクション

稚魚放流体験に参加して

耳川水力整備事務所 防災・環境グループ

たの うえ えい じ
田上 英二



宮崎県を流れる「耳川」は、豊富な水に恵まれており、古くから水力発電が行われています。当事務所では、この耳川流域での浸水被害を低減するため、山須原ダム・西郷ダムの改造工事を行っています。

今回、私たちは、この耳川における環境保護活動の一環として、漁協の方々との協働により、地元の小学校や保育所の子どもたちと鮎などの稚魚放流体験を行いました。子どもたちは、バケツから飛び出す稚魚に驚きながらも、「早く大きくなってね」と放流した稚魚を嬉しそうに見送っていました。

苦労もありましたが、後日、保育所を訪問した時に「あっ！お魚のおじさん達だ」と手を振ってくれた園児たちを見て、この子どもたちが大きくなって「耳川はいい川だ」と言ってくれたらいいなと感じました。今後も耳川の環境保護活動に取り組んでいきたいと思えます。